

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：九州地方整備局道路部地域道路課
担当課長名：的場 眞二

事業名 主要地方道 名瀬瀬戸内線		事業区分 地方道	事業主体 鹿児島県
起終点 自：鹿児島県大島郡宇検村宇検 至：鹿児島県大島郡宇検村生勝		延長 5.0 km	
事業概要 主要地方道名瀬瀬戸内線は、奄美大島名瀬市から大島郡瀬戸内町に至る延長103 kmの幹線道路である。当路線は、島内主要幹線道路の一部を構成し、交通安全の確保と、物流の円滑な輸送が図られることにより、地域の活性化に大きく寄与する延長5.0 kmの2車線道路である。			
H7年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H7年度用地着手	H7年度工事着手
全体事業費	約83.8億円	事業進捗率	62%
供用済延長	2.9 km		
計画交通量	1,830台/日		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 39/81億円 (事業費：38/80億円) (維持管理費：1/1億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 60/155億円 (走行時間短縮便益：57/148億円) (走行費用減少便益：3/7億円) (交通事故減少便益：0/0億円)
	基準年 平成16年		
事業の効果等 ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する）他9項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 現道は、線形不良の隘路区間で、豪雨時には斜面の崩壊など道路災害が多発していることから宇検村からも早急な整備要請を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 当路線を主に利用する圏域（宇検村） 人 口 平成7年度（約2.4千人） 平成15年度（約2.1千人） 0.88倍 自動車保有台数 平成6年度（約1.2千人） 平成14年度（約1.4千人） 1.17倍 交通量(日当たり) 平成6年度（約1,531台/日） 平成11年度（約1,559台/日） 1.02倍			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度までに2.9 kmを供用しており、残区間の大規模構造物（トンネル1箇所）も抗口の用地取得も終えていることから、平成17年度には工事着手するため平成22年度には完了する。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得において字図混乱箇所が30筆以上あり、さらに相続問題の発生等により登記処理に長期間要したが用地取得も平成17年度には完了する。			
施設の構造や工法の変更等 特になし			
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。